

東地域まちづくり協議会だより 第15号

令和2年度「おらっちゃん^{そうせい}創生支援事業」について

東地域まちづくり協議会 会長 大嶋 充

今年度は、新型コロナウイルス感染予防ということで、まちづくり協議会の行事をはじめ、各種の行事は開催が困難となっております。

東地域まちづくり協議会では、昨年度、小規模^{たきのう}多機能のまちづくり事業という区分で、「おらっちゃん創生支援事業」に補助金をいただき、比美乃江小・北部中など4か所の学び舎に防犯カメラを設置させていただきました。今年度は、100万円の補助金を申請し、次の事業を計画しております。

- ◇ 一人暮らしの方々へ火災報知器の配備・貸与^{たいよ}（昨年度の調査を踏まえて）

まちづくり計画書の「みんなで築こう支え合い 助け合い 安心・安全な地域」で提案しています。近年、市内において火災による痛ましい死亡事故が起きています。各組織や団体が力を合わせ、お年寄りの命を火災から守りましょう。

- ◇ あいさつ運動を家庭・学校・職場・地域全体でダイナミックに展開

《あいさつ運動を推進するため》

地域づくりで最も大切にしたいのは、「あいさつ運動」を通して地域の人々の絆を強くすることではないでしょうか。一昔前は、「オアサス運動」が市内で広く推進されていきました。近年、その看板も取り下げられ、「オアサス」という言葉はすっかり聞かれなくなりました。

あいさつは、良好な人間関係を構築^{こうちく}するための魔法^{まほう}の言葉と考えられます。オール東であいさつ運動を推進し、氷見の観光の玄関口としての東地域の役割を果たしていきましょう。

- ◇ 児童生徒の安全を確保するため主要な通学路である環状北線に防犯カメラを設置

本地域は、番屋街などの大型施設が存在し、能越自動車道（高速道路）を降りて環状北線を経由して大型施設に向かう車両が多く、また、児童生徒の通学路とも重なり、安心・安全を確保することが課題となっております。

◇ 東地域まちづくり協議会の実践を広く伝える手段としてのホームページの制作
ホームページは、今日、情報発信の道具としてなくてはならないものです。
「東地域まちづくり協議会」の活動などについて市内外に広く発信できる環境
を構築し、地域の活性化に繋げていきたいと思えます。

より暮らしやすい東地域の実現を目指して、このような事業に取り組みます。今
後ともご理解・ご支援をお願いします。

第2回 「東地域さわやかクリーンサンデー」の実施

昨年度は、はじめての試みとして、標記の活動に挑戦しました。掲げた目標は、
「まちを少しでもきれいに」「より多くの人とコミュニケーションを」でした。住み
慣れた地域で安心して生きがいを持って生活できる環境づくりは、地域づくりの最
も大切にされなければならない事業ではないでしょうか。

この活動は、みんなで
集まって一斉に実施する
活動ではありません。自
分はもちろん、周囲の人
も何か爽やかな気持ちに
なるようなことをみんな
で実行するのです。

例えば、散歩の途中で
ごみを拾ったり、近所の
人に勇気を持ってあいさ
つしたり、というようなことに挑戦するのです。



昨年度寄せられた感想は、「海岸や道路に落ちていたごみを拾ったら、すっきりし
た気持ちになりました」「大きな声で近所の人にあいさつをしたら、とても気持ちよ
かったです」というものでした。

このように、周りを変える前に自分を変えてみよう、という発想です。人は変え
られなくても、自分さえその気になれば変えられることが地域社会の中に数多く存
在します。「誰にでも」「どこでも」「いつでも」できる活動なので、3密の心配がなく、
今年度も多くの皆さんが参加くださることを願っております。

※ 「東地域まちづくり協議会だより」は、比美乃江小・北部中へお届けしておりますので、ルビ
を付けてあります。